

会 議 録

会議の名称	第1回 滑川町コミュニティセンター建設委員会
開催日時	令和6年10月31日(木) 13時30分～15時30分
開催場所	滑川町役場2階大会議室AB
出席者	大塚町長 <建設委員会委員> 内田委員長、岩崎副委員長、山下委員、小林委員、吉野委員、松本委員、 保泉委員、横田委員、小柳委員、上野委員、篠崎委員、福島委員、 澄川委員、稲村委員、関口委員 <事務局>総務政策課 奥野副課長、企画調整担当 久保島、金川 株式会社オオバ 泉澤、木村、山崎、船越
会議内容	1 開会 2 委嘱状交付 3 町長あいさつ 4 委員自己紹介 5 委員長及び副委員長選出 6 委員長及び副委員長あいさつ 7 諮問書伝達 8 報告 (1) コミュニティセンター施設整備基本計画について 9 議事 (1) 会議の公開について (2) 配置計画について (3) コミュニティセンター施設整備基本設計について (4) 今後のスケジュールについて (5) その他 10 閉会
会議資料	・資料 ・参考資料 現施設平面図 ・滑川町コミュニティセンター施設整備基本計画(令和6年3月)
会議録の 作成方針	<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した全文記録 <input type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録 記録内容の確認方法 会議録の配布
その他の必要 事項	

審 議 内 容 (発言者、発言内容、審議経過、結論等)

1.開会

2.委嘱状交付

3.町長あいさつ

4.委員自己紹介

5.委員長及び副委員長選出

- ・委員の互選により、委員長に内田敏雄さん、副委員長に岩崎千恵子さんに決定した。

6.委員長及び副委員長あいさつ

7.諮問書伝達

8.報告

- ・滑川町コミュニティセンター施設整備基本計画概要説明（事務局）

9.議事

(1) 会議の公開について

- ・委員皆様のご意見を伺った結果、本委員会は、傍聴は不可とし、議事録のみを公開することによいか。（内田委員長）

⇒全員了承

(2) 配置計画について

- ・総合グラウンドをイベントや駐車場利用するときに問題ないのか。グラウンドの東側の出入り口に影響あるのでは。（内田委員長）

⇒今まで通り一体で使う予定（事務局）

- ・大ホールの客席は、今のコミセンと同じく、椅子を出したりしまったりして使う形なのか。（吉野委員）

⇒今と同様で固定の客席は造らない予定（事務局）

- ・ステージ近くに楽屋は置かないのか。芸能関係で使いたい人がいる。女性の着物着替えなどステージ裏にできるスペースをほしい。芝居の小道具、歌謡劇団で使う、後ろから封鎖せず、広い扉で取り出せるように、様々な使い方に対応してほしい。（吉野委員）

- ・今のコミセンの利用現状をみると、楽屋確保は難しいのでは。文化活動発表会の時など、全サークルが収容できる規模の楽屋は難しい。講演会の来賓控室は1箇所あればいいと思う。（保泉委員）

⇒敷地面積が限られている。可能な範囲で検討する（事務局）

(3) コミュニティセンター施設整備基本設計について

- ・P5-2、屋根について、コスト的にはどうか。ランニングコストも考慮してほしい。

（小柳委員）

⇒構造を鉄骨造にした場合は、陸屋根の仕様にもより検討中である（オオバ）

- ・Aプランがおすすめか。Bプランもよいと思う。多目的コミュニティはBのほうが広く

なるとよい。(岩崎副委員長)

⇒A,Bプランどちら共、つなげて使えるようにするのは可能(事務局)

- ・時代とともにニーズは変わるが、多額をかけるので、先になっても変化に対応できる形を知恵として盛り込みたい。ホール300名というのは、人口減はそうだと思うが、人口を滑川町は保つ様子があるので、中学生の吹奏楽・芸能など技を磨いている人が、音響等整っている場所で、発表ができるとよいとの意見をきいている。(岩崎副委員長)

- ・Aプランの交流ホールと大ホール、日頃はコンパクトに太鼓などの練習もして、300～500人くらいに拡張できるとかできるとよい。孫の代も使えるものにできるとよい。(岩崎副委員長)

- ・子育て支援は、福祉センターもできるので、ふれあいルームなど誰でも使える部屋名がよい。調理室は、調理+多目的はよいと思う。子どもも調理できる調理台があれば、親と一緒に調理できる。お湯がでるのも良い。コンロはガスコンロを希望。

(岩崎副委員長)

- ・ホールにトラックをつけるのはどういう場合か。(岩崎副委員長)

⇒資材、楽器の搬入などで使用するのでは。(内田委員長)

- ・年に数回くらいのトラックだけであれば、他の入口から入れるとよいのでは。

(岩崎副委員長)

- ・ホールを大きく使ったり小さくできたら良い。分けて使えると良いと思った。分けてフレキシブルに使えるのが良い。会議室は半端な大きさの施設も多い。(内田委員長)

- ・大ホールのパーティションはできないのか。(内田委員長)

⇒可能であるが、ホールの高さが高いのと、防音対応などで、重く大きい仕様になるので、一般的な会議室のものと比較するとコストは高くなる。(オオバ)

- ・楽器の練習場を求める声もある。防音室があるとよい。(岩崎副委員長)

⇒多目的コミュニティルームでは検討している。(オオバ)

- ・できたらよいで足すのではなく、無くてはならないもの、必要なものは何かということを決めていきたい。(小柳委員)

(4) 今後のスケジュールについて

- ・今後の予定はどのように考えているのか(内田委員長)

⇒年内に第2回を開催とし、資料の進捗に従って日取りを設定する(事務局)

- ・資料は早めに配布願いたい(内田委員長)

⇒出来る限り事前に提供することとする(事務局)

(5) その他について

- ・委員の報酬、費用弁償について説明(事務局)

10.閉会

様式(第 5 条関係)